

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和7年（2025年）11月4日（火）
開催場所	箕面市立総合保健福祉センター 2階 会議室3・4
合議の出席者	公益社団法人箕面市シルバー人材センター 白川 正人 氏 公益財団法人箕面市メイプル文化財団 伊藤 万由 氏 社会福祉法人箕面市社会福祉協議会 松浦 和平 氏 一般財団法人箕面市障害者事業団 高橋 正信 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和7年11月4日（火）に箕面市立総合保健福祉センター会議室3・4にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で下記のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。

1) 合議メンバーからの主な意見と意見に対する説明

■収支状況について

（意見）

令和6年度の決算額が約2,500万円の赤字になっている。特に総合健診は1,800万円の減収となっているが、利用者の減少が影響しているのか。また、収入が減っていることに対し、何か対策を検討しているのか。

（説明）

収入の減少は、令和5年度末に医師が退職し、令和6年10月に採用するまでの期間、総合健診の受入枠を減らさざるをえなかったことが大きな要因である。医師の退職は急なことであり、募集に手を尽くしたが時間を要し採用が半年後になってしまった。

令和7年度は、医師を採用できたことで減少していた総合健診の受入枠を戻すことができている。また、市の胃がん検診の制度変更があることから、受診者動向などの様子を見たいと考えている。

■予約について

（意見）

予約完了までに時間がかかるようだが、分かりにくいのか。web予約は難しいのか。

（説明）

当センターの受診者の多くが箕面市民であり、市から受診者へがん検診等の助成等が多くあるため、一人ひとりにいろいろな案内が必要になる。助成等の内容は、年齢や加入保険等によって異なるため、1人の予約をとるのに数十分要することもある。

受診者の年齢や加入保険等に応じたきめ細かい案内を行うには、現時点では電話で予約を受けることが望ましいと考えている。

■レディースデイについて

（意見）

レディースデイの設定は年4回となっているが、回数を増やせば利用が増えるのではないか。

（説明）

レディースデイは、午前中に子宮頸がん検診や乳がん検診も併せて行っている。子宮頸がん検診は、産婦人科医（開業医）の協力により午前

中に実施していることから、回数を増やすことは難しい。また、午前中に男女を分けて健診実施することは、施設の構造上難しいため、女性のみを受診日は年4回の設定となっている。

2) 総評

経営状態としては、医師が半年間欠員となったことから赤字経営となったものの、迅速に医師を採用できたことは尽力いただいた結果と考えています。

利用者アンケートの総合的な満足度も高く、特に職員の接遇に関しては高い評価を受けていることから、指定管理者として円滑な運営を行っているとし評価いたします。